

神奈川県二ホンジカ管理事業実施計画の策定の流れ

○ 現状・課題

平成 31 年度（令和元年度）の計画から、より実行性のある計画とするため、例年 7 月頃に策定していた実施計画（本体）を年度当初に策定し、前年度までの実績については、暫定版として第 2・3 四半期の実績を実施計画（本体）に載せることとした。

また、前年度までの実績の確定版については、データが取りまとまる 7 月頃に実施計画（資料編）として別に整理することとした。

しかし、暫定数字として計画に載せることは、好ましくなく、また、実績が本体、資料編の両方に記載され、計画の体系に分かりにくさが生じてしまうこととなる。

○ 対応案

前年度までの実績については、数値が確定する 7 月頃に実施計画（資料編）として別にまとめるため、暫定数値である第 2・3 四半期の実績については、実施計画策定時の部会資料扱いとし、実績の確定版は、前年度実施計画（実績編）として公表することとしたい。